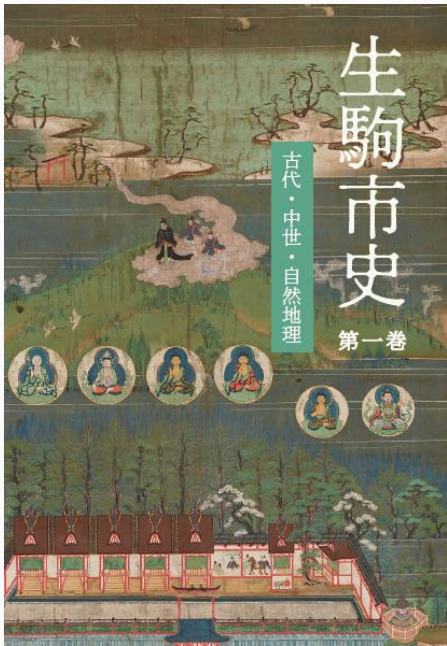


# ついに生駒市史第1巻 完成！



表紙 生駒宮曼荼羅（室町時代）  
（所蔵：往馬坐伊古麻都比古神社）

価格 3,500円 (税込)  
A5版 フルカラー

## 史料集第3集、第7集も同時刊行

4月24日(金)から発売

生駒市市制50周年を記念し、令和3年に開始した生駒の歴史「市史」を作る市史編さん事業。ついに市史の第1巻が完成しました。本市の豊かな歴史について最新の調査研究を行い、成果をまとめています。今後は全5巻発刊予定。



第5号

発行  
生駒市図書館  
市史編さん係

第1編の「自然地理」では、本市の地質・地形や自然災害、気候を記述。第2編の「古代」では、旧石器時代から院政期以前、第3編の「中世」では院政期から1600年頃までを対象に、各時代の生駒で起きたできごとや人々の暮らし、祈りについて調査研究した新情報満載の書籍です。壮大な歴史のストーリーを知り、新しい生駒像を発見できます。

第1巻・史料集は下記の施設で令和8年4月24日(金)から販売開始！！

市内5図書館・室、市役所生涯学習課、生駒ふるさとミュージアム  
啓林堂生駒店(第1巻のみ)(各施設の休館日や閉庁日は除きます)

## 生駒市史史料集第3集・第7集ができました

### 第3集 史料に見る生駒の近世 近世・近代史料集3 — 旗本松平家知行所 —

旗本松平家によって置かれた辻村の生駒陣屋や市内の各地域に残る史料をまとめています。領主による年貢の取り立てや、陣屋役人による支配を拒み、長州藩に支配を願い出た「矢野騒動」、11か村のできごとなど人々の苦勞が分かる史料集です。



価格 各 2,500円 (税込)

B5版 モノクロ



市史完成を記念して生駒にちなんだグッズを作成。グッズの売り上げは歴史文化基金に収められ、市史編さん事業などに役立てられます。  
▶販売場所 市内5図書館・室  
▶費用 各400円

◀(左から)一筆箋(生駒山デザイン・茶釜デザイン)、生駒市のかたちクリップ

### 第7集 史料に見る生駒の古代・中世

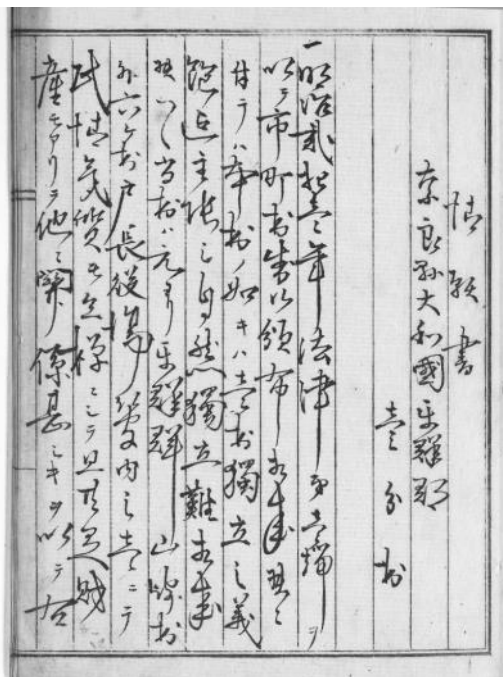
「記紀」・和歌など国内のあらゆる書物や金石文などから、古代・中世の生駒に関する記述を抽出した史料を所収した1冊。発掘調査の成果をもとに、市内遺跡の中から選んだ主要な集落や窯、墓、城などの解説と図版も掲載しています。

● 史料紹介 ●

# 生駒地域の 一村独立・ 合村の動き

文：山上 豊

生駒市史執筆員  
(近現代史分科会)  
元奈良大学文学部  
非常勤講師



史料名：請願書 奈良県大和国平群郡壹分村  
『自明治廿年至廿三年 町村制』(奈良県庁文書)  
(画像提供：奈良県立図書館情報館 まほろばライブラリー)

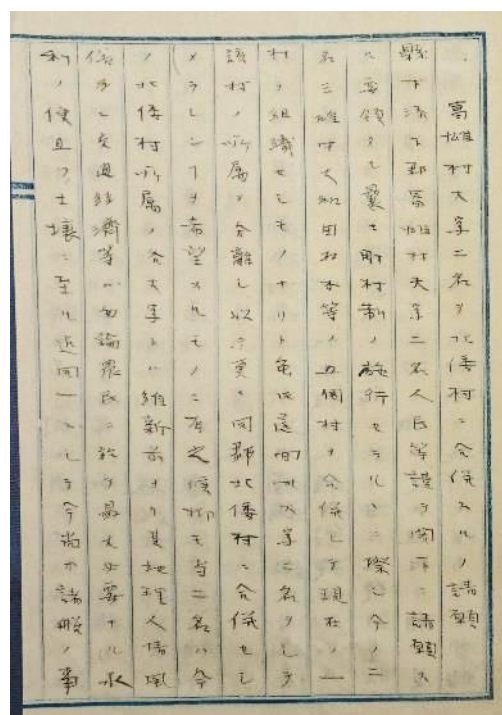
平群郡壹分村と、富雄村二名の一村独立・合村の請願の動きについてとりあげる。明治維新とともに奈良県が成立し、生駒地域は旧添下郡の五か村と旧平群郡の一七か村のあわせて二二か村を近世から引き継いできた。

その後、堺県・大阪府と変遷し、明治二〇年(一八八七)年一月四日、奈良県が再設置されたが、この間、生駒地域も「大区小区制」や「連合戸長役場制」のもとで行政区域の変遷があつたが、ほぼ「高山村外四か村」「山崎村外六

か村」「小瀬村外九か村」に集約されていた。ところが、明治二二年(一八八九)四月に「町村制」が施行され、国家の末端機構としての行政村が誕生し、奈良県でも一八三町一三〇六村が一〇町一四二村二組合村に合併されたが、難航した村もあつた。この合併で生駒地域は北倭村、北生駒村、南生駒村の三か村に整理統合され、その後の生駒地域の原型となつた。この合併をめぐる、壹分村はそれまで「山崎村外六か村」に属していたが、県の合併案で「小瀬村外九か村」に編成替えさせられた。これに対して壹分村は、一村独立を主張し、それが無理であれば、もとに戻してほしいと、同年二月九日に奈良県知事宛に上申書を提出した。そのなかで、壹分村はもともと「山崎村外六か村」に属し、これらの村とは共有財産もあり、

もう一つは、明治二六年(一八九三)の富雄村大字二名の動きである。富雄村の北部に位置し、北倭村と接している二名から、北倭村への合併請願書が提出された。それによると、二名は維新前から地理・人情・風俗・交通・経済・

水利などで北倭村と共通性があるとしているが、北倭村にとってこれらは相異なり、土木でも常に損失となる。本村の基礎はすでに鞏固であり、あえて合併する必要がないとした。二名は合併を強く希望したが、受け入れられなかつた。結局、北倭村は地域的な結合が強いうえ、生駒地域では農業生産力が最も高く、豊かな村であり、大字二名と合併する利点がなかつたといえる。いずれにしても、生駒地域としては二つの珍しい動きがあつた。



史料名：〔合併〕請願書  
(画像提供：北倭土地改良区)

④広島大学名誉教授・奈良大学総合研究所特別研究員岡橋秀典氏 ⑤龍谷大学・京都女子大学非常勤講師北野裕子氏 ⑥講演のあとに行われた質疑応答のようす



①奈良大学文学部国文学科講師 穴井 潤氏 ②奈良大学文学部国文学科教授 光石亜由美氏 ③講演のあとに行われた質疑応答のようす



## 生駒歴史サロンを開催

第1回「文学者の眼差しが捉えた生駒」

令和7年10月25日(土)

第2回「生駒の農業とものづくりの再発見」

令和8年 3月 1日(日)

**ところ** 図書館大会議室

第1回「こま歴史サロン」文学者の眼差しが捉えた生駒」に、約30名の参加者が集まりました。文学分野の執筆者2名が講師を務め、穴井潤氏から「生駒山にかかる雲」と題し、『伊勢物語』に登場する生駒山の雲の役割、後世の文学に与えた影響などについて、光石亜由美氏から「夏目漱石の門下生・中村古峡」と題し、夏目漱石との関係や生駒を舞台とした小説『殻』についてお話いただきました。また、第2回「生駒の農業とものづくりの再発見」には、約30名の参加者が集まりました。近現代史分科会から2名が講師を務め、岡橋秀典氏から「生駒市の農業がたどった道」と題し、戦後、特に市政施行後の農業の変化について、北野裕子氏から「近代生駒のものづくり」と題し、調査結果から得られた近代からの産業の流れについてお話いただきました。次回は7月25日に歴史イベントを行う予定です。詳細は広報こまら6月号でお知らせします。

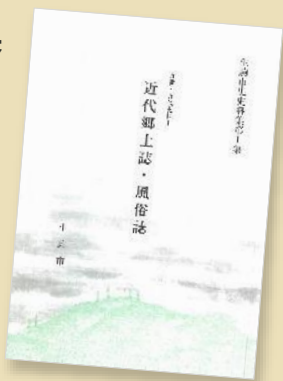
## 生駒市史史料集 好評販売中！

第1集

価格 1,500円 (税込)

<掲載史料>

- ・北倭郷土誌資料
- ・北倭村風俗誌調
- ・奈良県風俗誌記載事項調 北生駒村・南生駒村



近世・近代史料1  
近代郷土誌・風俗誌

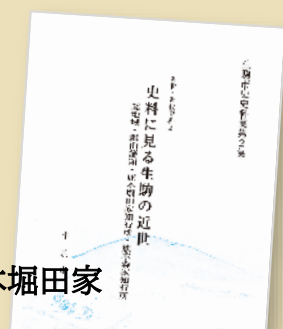
第2集

価格 2,500円 (税込)

近世・近代史料集2

史料に見る生駒の近世

—総地域・郡山藩領・旗本堀田家及び森家知行所—



第4集

価格 2,500円 (税込)

近世・近代史料集4

史料に見る生駒の近代

～村から町、そして市へ～



### ■販売場所

市内5図書館・室、市役所生涯学習課  
生駒ふるさとミュージアム(休館日や閉庁日は除きます)

### 編集後記

この度、本編第1巻を創刊しました。同時に史料集第3集、同7集も発刊する運びとなりました。これもひとえに、執筆者の皆様方、ボランティア、調査にご協力をいただきました皆様の温かいご支援、ご尽力の賜物と深く感謝する次第です。是非、ご一読いただければ幸いです。そして、これらがまちへの愛着を深め、郷土を未来に引き継ぐ大切さについて考える良き道標になればと願っています。

## 令和7年度の動き

5つの分科会では下記の活動を実施。年度末の発刊に向けて、本編第1巻に関する編集会議が古代史分科会と中世史分科会で分科会の垣根を越えて活発に行われ、執筆から校正に力を注いだ一年となりました。同様に、史料集第3集と第7集の発刊のため、古代史分科会と近世史分科会も会議と執筆、校正に注力。近世史分科会は来年の第2巻発刊に向けて打合せや執筆も開始しました。

さらに今年度は近現代史分科会による産業分野の調査や、自然分野による昆虫・植物・魚類、ほ乳類などの調査も数多く実施されました。その他、前年度に引き続き市内の寺社文書・仏像調査や古民家建築の聞き取り調査など、各分野での調査が続いています。

## 各分科会の活動報告

## 古代史分科会・中世史分科会

1回の分科会、2回の編集会議と市史第1巻・史料集7の執筆を行いました。

- 4月 第5回中世史分科会
- 6月 古代史・中世史分科会第1回合同編集会議
- 9月 古代史分科会
- 通年 市史第1巻・史料集7の執筆

## 近世史分科会

4回の会議と史料の翻刻、史料集3の執筆を行いました。

- 4月 史料集3編集会議
- 7月 鶴林寺史料調査
- 8月 第6回近世史分科会
- 1月 第7回近世史分科会、円福寺史料調査
- 2月 市史第2巻打合せ

## 近現代史分科会

2回の会議と、史料集5のための史料収集、各所での聞き取り調査を実施しました。

- 4月 大和文華館史料調査
- 5月 近現代打合せ
- 6月 市内病院聞き取り調査
- 6月 市内産業聞き取り調査
- 6月 近現代打合せ
- 8月 史料集5打合せ
- 10月 農業聞き取り調査
- 10月 北倭土地改良区調査
- 11月 住宅開発に関するフィールドワーク
- 12月 住宅地の観察と撮影
- 12月 ため池等農業施策調査
- 12月 第6回近現代史分科会
- 通年 生駒市所蔵史料調査
- 有山武兵衛史料整理
- 明治～昭和発行新聞記事調査

## 文化遺産・自然分科会

分科会内でそれぞれの分野に分かれ打ち合わせや調査を行いました。

- 4月 自然分野打合せ
- 5月 ため池等昆虫調査
- 6月 ほ乳類調査
- 7月 第4回文化遺産分科会・鶴林寺調査
- 10～11月 秋の動物生息状況調査
- 11～12月 市内産業聞き取り調査
- 10・12月 古民家調査
- 1月 円福寺撮影実測調査
- 3月 文学史料調査、大福寺調査
- 通年 市内植物調査
- 市内昆虫調査
- 民俗分野打合せ

## 市史編さんボランティアが活躍しています

約20名のボランティアの皆さんが市史編さん室での史料の整理作業、翻刻作業、講演会でのイベント運営などに取り組んでいます。

## Interview : こんな活動、やっています

新聞の地方版で、生駒市が市史編さんのボランティアを募っていることを知りました。当初は、史料の翻刻などの作業を、ここ二・三年ほどは、県の図書情報館に通って、地方紙のマイクロフィルム版から生駒市に関連する記事の検索をしております。以前から民俗学や地域の歴史などに興味がありましたので、自分なりの「発見」や「気づき」もあって、楽しく参画させてもらっています。西村 博美さん

